

会 議 録

会議名	平成 21 年度 第 2 回 相模原市行政評価検討委員会		
事務局	企画部 経営監理課		
開催日時	平成 21 年 10 月 21 日（水曜日）18 時から 20 時 45 分まで		
開催場所	市役所本庁舎 2 階第 1 特別会議室		
出席者	委員	5 人（吉田委員、西本委員、霧生委員、野中委員、西委員）	
	その他	0 人	
	事務局	3 人（経営監理課長 外 2 人）	
公開の可否	公開可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由	/		
会議次第	1 座長あいさつ 2 傍聴の確認 3 議題 3 次評価の実施に向けたヒアリングについて 4 その他 次回スケジュールについて		

【審議経過】

主な内容は次のとおり。

- 1 座長あいさつ（吉田民雄委員）
- 2 傍聴の確認（なし）
- 3 議題
 3 次評価の実施に向けたヒアリングについて

下表のとおり、ヒアリングを実施。所管課の説明 5 分、質疑応答 1 5 分。

	時間	担当課	施策番号	施策名
1	18:10	障害福祉課	11310	自立した生活を実現するための環境づくり
2	18:36	スポーツ課	15210	スポーツ・リクリエーション活動の促進
3	19:14	市民協働推進課	17120	コミュニティ活動の支援
4	19:50	文化国際課	18130	国際化の推進
5			35130	都市文化の創造と情報発信
6	20:20	こども施設課	13120	子育て支援の充実

- 4 その他
 次回のスケジュールについて
 11月2日（月）午後6時から開催

以下主な意見、質疑応答等（○は委員、●は担当課、◆は事務局の発言）

【11310 自立した生活を実現するための環境づくり】

- 障害者といっても様々な程度の方がいるが、どの様に配慮しているのか。
- 新総合計画では重度障害の方への支援が課題となっている。国の方向性と反対ではあるが、入所施設の確保は必要と考えている。
- 相談件数の内訳はどうなっているか。
- 保健福祉総合相談課があるが、担当課に割り振るのにとどまっており、一元的な把握を行っていないため、内訳については承知していない。福祉に関する相談については、法体系も違うことから、一元的に管理することが課題であると考えている。
- 相談の仕方を相談できる場所が必要である。
- 保健福祉総合相談課のほかに事業所でも応じることになっている。
- 改善計画書の目標を達成するためにどのような方策を取るのか。市の姿勢が見えてこない。
- 新総合計画では3つの指標が設定されているが、これを達成することでニーズを満たしたことになるのか。結果として障害福祉が歪まないようにしてほしい。
- 新総合計画の指標については、テーマに沿って掲げているが、これだけで十分だとは考えていない。障害にも種類があり、この指標設定により全体が見えなくなるようなことはない。また、部門別計画もあり、詳細な部分は担保している。
- ◆部門別計画においても、8つのカテゴリーで指標設定をしており、満遍なくカバーできている。
- 目標設定の根拠が重要であるが、これがわかりにくい。他市との比較というのもひとつの考え方である。
- 作文だけにとどまらないよう、事業の見直しも検討してほしい。

【15210 スポーツ・リクリエーション活動の促進】

- あれもこれもやるという話であるが、限られた財政の枠の中で優先順位をつけているのか疑問がある。
- 相模原市体育協会への補助が1億近くありながら、指標の設定も出来ないのでは市民に対して説明がつかないのではないかと。体育協会に指標を作ってもらい、それを検討する方法もある。
- 体育協会の財務分析をしっかりとやる必要がある。また、常に状況を把握しておく必要がある。
- 参加人数の報告など、連携を取ってやっている。
- 過去に実施しているからそのまま継続しているという事業もあるのではないか。出来るだけ成果を上げられる事業を選択する必要がある。
- 参加人数が多ければいいスポーツという印象を受けるが、体力向上の面についての指標は無いのか。
- 体力についての指標は客観的な基準が作りづらい。個人で判断することは

あるが、統計的なものは無い。

- 体育指導員の活動ぶりも顧客満足度のような形で評価できないか。体育指導委員の報酬はどうなっているのか。
- 年額で6万円を支給している。
- 例えばテニスコートの予約がしづらい状況があったとして、それにより指標としている成人のスポーツ実施率が下がっているのかというような分析は行っているのか。
- 指標の実績値についてはアンケートの結果。ご指摘のような分析は行っていない。なお、テニスコートは増設もしているが、よく使う人とたまにしかならない人のバランスをとるのが困難である。
- 構成事務事業で施設管理の額が大きい、入札を行っているのか。
- 指定管理料であり、指定管理者は市として基準を持って選考しているが、金額だけの評価ではない。

【17120 コミュニティ活動の支援】

- 加入促進策について、大規模集合住宅等建設の際に取り決めなどはあるのか。
- 販売業者に周知のお願いをしている。
- 市がバックアップしてくれないと難しいという話を聞くが、市の努力がわかるような指標設定は出来ないか。
- 加入率の目標について、ベンチマークとしてはどうなのか。
- 近隣市の状況や中核市の状況は把握しているが、各市の都市の形態や現状、また、数値の取り方がまちまちで、ベンチマークとして比較するのは難しいのではないか。
- 転入時に窓口で周知はしているのか。
- パンフを置いて手渡している。また、3月の転入期にPR活動を実施した。
- 自治会の役割についても既加入者を含めてPRする必要があるのではないか。
- 検討している最中である。
- 自治会加入世帯数だけでなく、自治会の特徴ある活動がわかるような指標も検討してみてはどうか。
- 特徴ある自治会活動を抽出することは難しいと思うが、趣旨はよくわかる。
- 自治会活動の理念の部分は、行政が明確にし、繰り返し周知する必要があるのではないか。住んでいる人に直接伝わるようなことが必要である。
- 行政の役割は、課題を提示して市民を動かすことではないか。
- 防犯や防災などを切り口にすれば加入者数を増やすことが可能ではないか。
- 防犯、防災、環境等での必要性、重要性をアピールしている。
- 防犯や防災面で、最も重要な高齢者の加入者を繋ぎ止めることが課題であり、福祉分野とも連携し推進することを検討している。

【18130 国際化の推進】

- 国際交流の施策の指標 1 の交流率の定義はなにか。
- 市長やスポーツ交流などの公式訪問数である。
- 一般市民レベルの交流は含めていないのか。
- 数値把握が難しいため、含めていない。
- 施策レベルで考えると、2つの施策は、同様ではないのか。施策体系の見直しが必要ではないか。
- 現在進める新しい総合計画の施策の検討において見直しを予定している。
- 説明の中で多文化共生を目指すと思ったが、その状態を示せる指標が必要ではないか。
- 経済技術交流や交流した成果がわかる指標の検討も必要ではないか。
- 現在改定作業中の「さがみはら国際プラン」で成果指標の検討を行う。
- インフラ整備を含めて外国人が住みやすい環境整備が必要ではないのか。
- 課題としては充分認識している。
- 市民相談課の外国人相談の結果は、活用できているのか。施策のヒント、課題解決のヒント、ニーズ把握があると思うが。
- 国際交流ラウンジでも同様の相談は受けており、ニーズ把握には努めている。プライバシーに関する部分も多いので、情報共有を全て行うのは難しいと考えている。
- 国際交流ラウンジの存在を知らない方が多いことも、大きな課題であるので、全市レベルでの取り組みによる周知に努めたいと考えている。
- 全市レベルで考えるならば、公民館を活用して相談業務を行うなどできると良いのではないか。
- 外国人が最も必要としている情報・支援は、教育と医療ではないのか。それらのサポート体制は、どうなのか。
- 多くの市民に様々な分野のボランティア登録をさせていただいており、活用されている。これらのボランティア活動に対する支援を市が行っている。
- 市の取り組みとしてアピールできる部分ではないのか。

【35130 都市文化の創造と情報発信】

- 市のホームページは、よく出来ている。20代の広報紙閲読率が低いことが課題とあるが、ホームページアクセス件数も指標として考えていいのではないか。
- 36110 情報通信メディアを活用した行政サービスの推進で指標設定している。
- インターネットを別に考える時代ではないのではないのか。施策同士の整理が必要ではないか。
- 研修の成果を示せる指標は無いのか。
- 定量的に測る指標は難しいと考えている。
- 構成事務事業に違和感を覚えるが、施策目的からの整理が必要ではないか。
- 「指標 2 : 収集資料数」は、市民の検索率などを指標としてはどうか。
- 資料数を指標とした理由は、情報公開室に資料として配架されていない資料は、情報公開請求を行う必要があり、市民に煩雑な手続きを求めること

となるので、なるべく多くの資料を収集することが市民サービス向上の指標となると考えたものである。

- 資料の利用率を指標化するほうがよいのではないか。
- 目的から考えると相応しいと思う。数値化できるかどうか検討を行う。
- コールセンターについては、年間どれくらい問い合わせがあるのか。
- 日に300件程度と承知している。
- 費用対効果を測るようなベンチマーク指標は設定できないか。
- ホームページでは、見せるための工夫が必要である。リンクや検索エンジンなど市民の利便性を考える必要があると考えるが。
- 今年度からアクセス解析が出来るシステムを導入したので、様々な分析に活用し、利便性の向上を図っていく。
- ホームページの変更後に利用者アンケート等は実施したのか。変わってよかったどうかの確認はする必要があると考えるが。
- 特に実施していない。アクセス解析の中で使い勝手やニーズ分析を行っていきたいと考えている。

【13120 子育て支援の充実】

- 昨年、事務事業のグループ化を行い、ターゲットを明確にするように指摘をされているが、具体的には何を行ったのか。
- こどもセンター、児童館の見直しをはかっている。
- 放課後の児童に関する事業の一体化を図る仕組みは。
- 検討を行っているところである。児童クラブと放課後こども教室を経費面と人員面も含めて一体化している。
- 児童クラブの補完として放課後こども教室があるのか。
- 児童クラブは厚生労働省所管、放課後こどもプランは文部科学省所管で互いに補完するものではないと言っている。放課後こども教室は待機児童を解消する手段として活用したいと期待しており、全体を含めて検証を行っている。併せてこどもセンターの機能についても検討している。
- 預けたい人が預ける場合も負担を求めないのか。
- 遊びの場を提供するというスタンスであり、預かるのではない。
- 遊びの場の提供であっても、事故等が発生したときの責任は行政のはずである。
- 保険をかけることは検討しており、その場合には保険料をいただくとと思う。

【決定事項】

- ◎ ヒアリング結果を踏まえ、次回委員会で評価を行う。

相模原市行政評価検討委員会委員名簿

氏名	所属団体等	出欠
吉田 民雄	東海大学教授	出
霧生 卓	公認会計士	出
野中 保	相模原市自治会連合会	出

西條 政夫	相模原商工会議所	欠
佐々木亮一	相模原青年会議所	欠
川前 寿和	相模原地域連合	欠
西本 敬	相模原ボランティア協会	出
出沼 聡	公募委員	欠
戸川 武彦	公募委員	欠
西 秀秋	公募委員	出